



湯上がりに、夕食後に、ゆったりと景色を眺めながらくつろげるラウンジ。奥にはお籠り感のあるライブラリーもあり、読書に耽るのもおすすめ。



窓に映るのは水墨画のような美しい冬景色。客室の檜内風呂にも温泉が引かれており、いつでも湯浴みができる。写真はベッドスタイルの客室「松」。



一枚絵のように景色を切り取る半露天風呂付きの内風呂「青藍」。2つある内風呂はどちらも十分に自然を体感できる。



1月1日、2日の朝食は、新年を寿ぐおせち料理ともち5種類が供される。献立の中には福島県の正月に欠かせない郷土料理「いかにんじん」も。



土湯別邸 里の湯 ☎024-595-2146

福島県福島市土湯温泉町悪戸尻27-2 <https://www.satonoyu.com/>



スガワラホールディングス

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2丁目5番4号 TEL.022-782-5777



夕食は、季節の移ろいを繊細に表現した日本料理。脂ののった三陸沖の旬魚や滋味豊かな地場産野菜を主役に据えた一品など、最後まで食べ飽きない構成で目と舌を楽しませてくれます。2名までは、夕食・朝食ともに部屋食でいただけるのがうれしいポイント。スタッフの行き届いた気配りと温かいおもてなしも、心地よい滞在を演出します。さらにこの冬、「RETRACT」リラクゼーションスパがセットになった宿泊プランが登場し、楽しみが増えました。何度も温泉に浸かり、美食を味わい、ひたすらにのんびり過す。「何もしない」という贅沢な時間が待っています。



長い回廊階段を下りた先に設えられた露天風呂「深碧の湯」。檜風呂と岩風呂があり、源泉かけ流しの温泉に浸かれれば、極上の開放感を味わえる。

静謐な雪景色に包まれて 何もしない、という贅沢時間

吾妻山麓の土湯温泉に、今年も冬が訪れました。客室わずか9室の隠れ宿「土湯別邸 里の湯」では、この季節にしか出会えない絶景温泉と冬の美味、いつもと変わらない心温まるおもてなしで迎えてくれます。

温泉・美食・もてなしに心と身体が解きほぐされる
吾妻連峰は真っ白な雪に覆われ、「土湯別邸 里の湯」も冬の季節を迎えました。宿までのつづら折りの下り坂は旅情をかきたてますが、冬期は安全性を考慮して坂の上の駐車場を利用します。到着後、備え付けの電話で連絡すると送迎車が迎えに来てくれるので安心です。
館内は畳敷きになっており、裸足または足袋ソックスで過ごします。床暖房の効いた畳を歩く気持ちよさに、リラック感が高まります。
冬の醍醐味は、なんとと言っても雪見風呂です。溪流沿いの貸切露天風呂「深碧の湯」は、大自然を体感できる宿の自慢。雪化粧の杉原生林を眺めながら湯に身を委ねれば、すーっと心と身体が解きほぐされます。2つの内風呂も貸切制になっており、プライベートな湯浴みを満喫できるのも、ここならではの。
滞在中の過ごし方はそれぞれ。窓が映し出す雪景色を眺めながら部屋でゆっくり過ごすもよし、ラウンジでくつろぐもよし。ラウンジにはソフトドリンクやミニビール、アイスなどが無料で用意され、湯上がりや食後の一杯にぴったり。屋根にぶらさがる巨大なつららも見ものです。